

戦没者叙勲 遺族に伝達

戦没者叙勲による勲章等の送付が十七、二十回の割合でありますが、中里村関係については、三月七日厚生省より、去る三月十一日役場において、遺族の方々に伝達式が行われ、叙勲された戦没者の氏名を掲載いたします。

戦没者	遺族	部署
樋口 一郎	啓治 村木沢	
村上清之進	トミ 田沢	
羽鳥 常雄	丑彦助 貝野	
田田 善弘	キチ 高道山	
桑原今朝治	ノブ 田代	
山田 宗平	孝平 倉俣	

海外移住の話

日本の真側に中南米という大陸がある。しかしその中南米に於いては、広大な土地があり、農業においても発展する余地が無限にある。健康で努力家であれば、五年目という努力で自立生活が出来るといえる。中南米諸国は、未開の土地を開拓するため、産業を誘引するため外国からの移住者を呼びかけている。日本からも海外移住として、戦前、戦後を問わず多くをだしているが、農業を初め、多くの部門で成功しています。私運日本人が中南米の国々の発展に貢献しているため、各国が日本人に対して非常に好意的に接してくれ、望んで日本の移民者を受け入れ土地を提供している。日本の農業において、土地が狭く、耕作には土地が高い。商売においても同業

高道山地区十年 後のレビュー

先きに新聞(読売、日報、十)日町新聞)で報道された通り、高道山小学校職員の手になった論文「高道山地区十年後のレビューとその実現への道」が全園で十五篇の優秀論文のひとつに選ばれ、二月八、九日の同日現地調査が実施された。

中央から新生活運動協会推進部長渡辺敏夫、読売新聞社普及部長小川倉一、果から保官一名、八日後は、田沢林蔵旅団で審査員その他元代表として、高橋村長はじめ教育委員長、教育長、社会教育主任、グループ側では、高道山小学校長、同教頭、地元教育委員の十名がチームを組んで、高道山地区職員によって製作された純白の中里村地形模型を真中村の将来の開発の夢について真剣に話し合われた。特に、話し合われた話題は、小沢原開拓の夢、大スキー場開拓の夢、

村民柔剣道大会

去る三月六日、中里村体育協会主催で村民柔剣道大会が開かれた。ちようとう中学、高校生の試験期とぶつかり、参加者は少なかつたが、有段者なぞにまけまいと、気合のこもった試合が、大大会成績は次のとおり。

一位 中里島雄雄、二行井口雄雄
二位 中里島雄雄、二行井口雄雄
三位 中里島雄雄、二行井口雄雄



(写真は柔道の熱戦)

一位上原利和、二位河山勲、三位富井英雄、敢斗貴山本孝一、二位田山正智、三位井井島秀

調停のはなし(2)

三、調停を申し立てるには、調停の種類によって、それぞれ受け持の裁判所へ調停の申立をするわけですが、この裁判所へ申し立てたからといって争いは、争いの対象になっている物の所在地や、相手方の住んでいるところなどを基準として定めることになっていきます。しかし当事者の合意によって便利な裁判所を定め、争いを定めることになっていきます。さて

申し立てるには、当事者の住所を争うような争いについて、どのような調停をしてもらいたい、というのを希望するに申立書を裁判所へ出します。これを審判による申立とい、それが出ないときは、裁判所へ行って口頭で述べてもよいことになっており、これを口頭による申立といわれます。

十日町裁判所、新潟家庭裁判所十日町出張所では、審判による申立を勿論、口頭による申立を時間中ならいつでも受け付けていますので、付書してきます。そして収入印紙で一定の手数料を納めます。

この額は次のとおりで、目的物の価額によって違いますが、それについても訴訟よりははずしく安くなっています。

四、申立の手数料

民事調停(1)からの場合、調停を求め事項の価額一万円まで、手数料六十円、一万円を越え、十万円までの部分については手数料一万円、五十万円までの部分については手数料、一万円、十万円を越え、五十万円を越える部分、手数料、一万円、二十円、民事調停一件百円。

なお、このほかに関係人と呼ばれるための切手代などを支払うことになることがあります。

(以下次号)

明るい家庭づくり

入選標語をきまる

中里村青少年問題協議会では、村内小中学校及び一般の方から、明るい家庭づくりの標語を募集したが、この標語、たくさん応募作品の中から、次のとおり入選作品を選びました。

なおこの標語を、明るい家庭づくりの運動をすすめていくために、家庭や学校や、団体のあつたりや話あいの場でおおむね採用して、もちろんだいもので

◎入選

清澤映小四年 鈴木 翠
母への手伝いかあきんニニコロ
貝野 小六年 村山 常美
家中で仕事うけもちあさい暮らし

◎佳作

貝野小四年 西野 一男
みんなが働き、楽しく通う家
田沢 小五年 武田 貞彦
朝のあけつわが家のスタート

みんなして、おはなし、しあつたの毎日

田沢 小五年 村山 君子
いつもあかるいよ家庭、みんな揃ってしようぶなかな

◎中学生の部

◎入選

田沢中 武田 洋子
大声で笑える話せる明るい家庭
田沢中 樋口 利子
笑顔の食卓、明るい家庭

◎佳作

倉橋中 鈴木三三子
みんなが協力、明るい家庭
倉橋中 大島 信子
親子そろってあそびあそぶ、家

相談と尊敬で築く良い家庭

倉橋中 高橋 洋子
食卓に、いつも笑顔の花咲かせ

田沢中 岡部 松三
二に健康、三に話あひ、三に協力よい家庭

田沢中 武田 洋子
ユーモアが、今日もこぼれ出す明るい家庭

◎入選

通り山 樋口フジ子
われ先に笑顔で築まる家庭の日
田 中 滝沢 貞一
話し合ひもつて、わが家に和をもちます

◎佳作

記名無し

みんな元気な もう一頑張り

中里村校庭では、先ごろ出稼者のみなさんと、励ましの手紙といっしょに、公民館報一頁号をお届けしました。留守のことを中心しながらも、みんな元気で働いていると、たくさんお礼が来たり、元気に帰る姿も少なくありません。元気があふれる日も近くなりましたが、家族のみなさんもお元気を知らせたい、がんばりましょう。

そのみなさんにかわって、お便りさせていたきます。私たちは、家の留守を替わります。お願ひして、いま働いているところは、信濃川をさかのぼり千曲川に合流する犀川をさかのぼり、日本一の長河の上流、長野県松本から梓川の渓谷を経て、北アルプス上高地の水源地にできる東洋一といわれている水力発電所の工事現場です。夜は故郷を思い、朝夕家に寄りかたがけはよいかと念じながら水点下五度六度、寒い日は零下十一度という寒いところまで働いておられます。

最近の暖かきでみんなが「おい、そろそろ帰って来い切りしなにか」「さか言ってるんじやないか」。また三月は「長いなあー早く帰りたいが可愛い子とあかあちゃんのために、いま一がんばりするか」等と話しあっております。また、夕食後ひとひととき、「毎週の事で、東洋一の発電所が出来た時は子どもを連れて、この雄大な国立公園に遊ばせたいか」「なにか話しがはなすな。寒さを忘れ、彼れもいとわす日夜新し機械と取り組む姿は深ましかいかりです。さか言ひ私のとこるは小千谷附近から、中里村津南町、長野県、藤は船木、北は宮城県あわせて百六十名、からお願いいたします。

公民館運動を すすめるため

戦後、公民館が廃止してから二十年近くになる。中里村となってからも、十年、いまだわが村には独立の公民館はない。かつて公民館運動の初期時代には、社会生活の中心から、青年、婦人層が中心で、公民館の中心で、あったが、活況が衰えてきた。公民館運動が、地域の民主化、生活改善の大きな推進力となって来た。公民館が、時代の進み、世の中も進んだが、人間は自分勝手になった。公民館が、時代の進み、世の中も進んだが、人間は自分勝手になった。公民館が、時代の進み、世の中も進んだが、人間は自分勝手になった。

公民館が、時代の進み、世の中も進んだが、人間は自分勝手になった。公民館が、時代の進み、世の中も進んだが、人間は自分勝手になった。公民館が、時代の進み、世の中も進んだが、人間は自分勝手になった。

公民館が、時代の進み、世の中も進んだが、人間は自分勝手になった。公民館が、時代の進み、世の中も進んだが、人間は自分勝手になった。公民館が、時代の進み、世の中も進んだが、人間は自分勝手になった。